DeviceControl

デバイスコントロール 管理者ツール

取扱説明書

第７版

ed-contrive®

イーディーコントライブ株式会社

目　次

はじめに

DeviceControl 管理者ツールでできること--3
同梱品--3
動作環境--4
DeviceControl 管理者ツールのインストール------------------------------------4
DeviceControl 管理者ツールのアンインストール--------------------------------4

DeviceControl 管理者ツールの操作

DeviceControl 管理者ツールの起動---5
ホワイトリスト(許可リスト) --5
USB ストレージ追加--6
USB ストレージ追加ダイアログ--6
USB ストレージの参照--7
初期化ツール ID の確認---7
読み取り専用設定--7
ドライブレター追加---8
ホワイトリストの編集と削除---8
ホワイトリスト以外---9
Windows 標準機能--9
アンインストールパスワード---10
高度な設定---10
設定読込み---11
設定保存---11
クライアント用インストーラーの作成--12

クライアント用インストーラーの操作---------------------------------13

その他

ホワイトリストの適用について---15

DeviceControl ソフトウェア使用許諾書------------------------------16

◎Microsoft、Windows、Windows 2000/XP/Vista/7 は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
◎TRAVENTY™はイーディーコントライブ株式会社の登録商標です。
◎イーディーコントライブロゴは、イーディーコントライブ株式会社の商標です。本誌に記載されている他社名、他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

DeviceControl 管理者ツールでできること

DeviceControl 管理者ツールは、USB ストレージの使用許可、アクセス許可を制御する DeviceControl のクライアント用インストーラーを作成するソフトウェアです。
作成されたクライアント用インストーラーを利用し DeviceControl をインストールすることにより USB ストレージデバイス等の書き込み不可、利用不可などの制御が行えます。

同梱品

DeviceControl 管理者ツールには、次のものが同梱されています。開封後、ご確認ください。

CD-ROM　1 枚

* 同梱品が足りないときや破損しているときは、当社もしくは販売店にご連絡ください。

はじめに

動作環境

DeviceControl 管理者ツール及びクライアント用インストーラー

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium/Starter/Enterprise Microsoft Windows Vista Ultimate/Home Premium/Home Basic/Business/Enterprise (SP1～SP2 含む) Microsoft Windows XP Home Edition/Professional (SP2,SP3) Microsoft Windows 2000 Professional (SP4) ※いずれの OS も日本語版のみ対応 ※いずれの OS も 32bit 版のみ対応
CPU	Intel Pentium Ⅲ 1GHz 以上（但し OS のシステム要件を満たすこと）
メモリ	256MB 以上 Vista は 512MB 以上、7 は 1GB 以上 （但し OS のシステム要件を満たすこと）
動作確認済ストレージ	TRAVENTY™ CG シリーズ・TRAVENTY™ シリーズ・Sdshelter シリーズ・Sdcontainer 4.0 以降 *※上記以外の USB ストレージは動作保証の対象外となります。*
その他	・管理者権限を持つアカウントでインストールする必要があります。 ・USB ポート　USB2.0 が必要です。 ・マイクロソフト純正の USB ドライバ以外で動作する増設 USB ポートでは動作しない場合があります。 ・管理者ツールのインストールには CD-ROM を再生できる倍速以上のドライブが必要です。

本マニュアルは Windows 7 での利用を例として記載しております。Vista、XP、2000 でご利用の場合はそれぞれ読み替えてご利用ください。

DeviceControl 管理者ツールのインストール

コンピュータの CD-ROM ドライブに DeviceControl 管理者ツールの CD を挿入します。CD-ROM ドライブの［Setup_SDDC.exe］をダブルクリックします。インストーラーに従って操作してください。

DeviceControl 管理者ツールをアンインストール

［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムのアンインストール］をクリックします。［DeviceControl 管理者ツール］を選択し、アンインストールを行ってください。

※クライアントにインストールした DeviceControl をアンインストールする時には、管理者ツールで設定したアンインストールパスワードが必要となります。
以下「管理者ツールの操作」で設定するアンインストールパスワードは大切に保管してください。

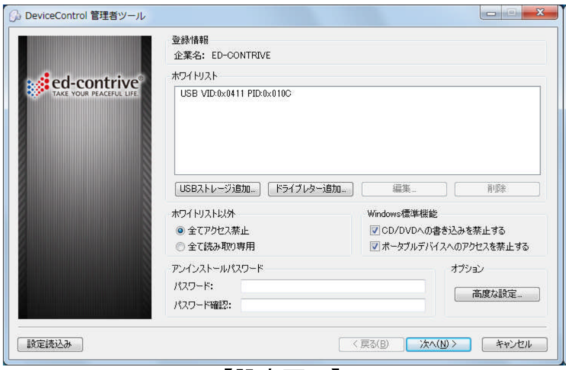
DeviceControl 管理者ツールの操作

DeviceControl 管理者ツールの起動

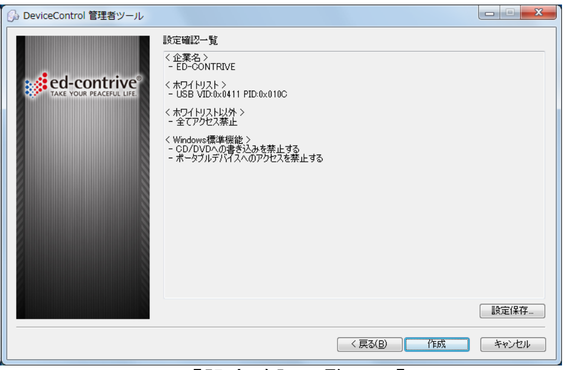
［スタート］→［すべてのプログラム］→［ED-CONTRIVE］→［DeviceControl］→［DeviceControl 管理者ツール］を選択します。DeviceControl 管理者ツールが起動します。

※DeviceControl 管理者ツールの設定画面は「設定画面」「設定確認一覧」の 2 画面と各ダイアログで構成されます。

[設定画面]で各設定を入力後[次へ]をクリックすることで、[設定確認一覧]が表示されます。



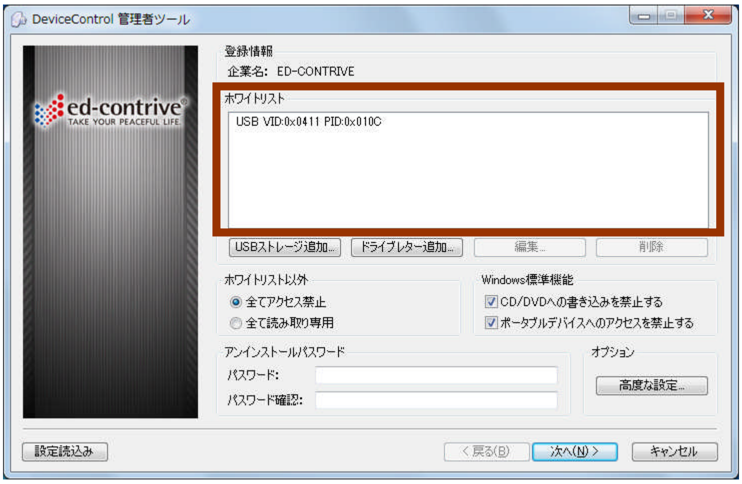
【設定画面】



【設定確認一覧画面】

ホワイトリスト(許可リスト)

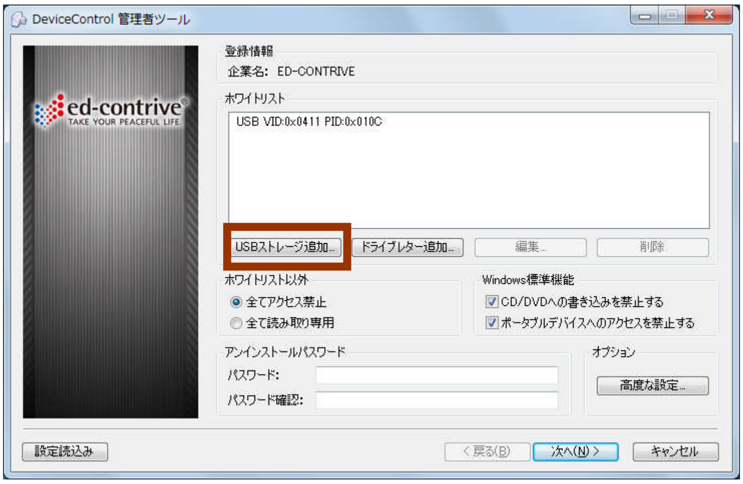
許可する USB ストレージの許可一覧を表示する場所です。



DeviceControl 管理者ツールの操作

USB ストレージ追加

ホワイトリストに許可する USB ストレージ追加ダイアログを表示します。



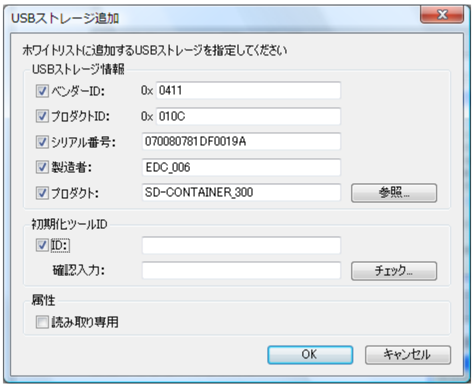
USB ストレージ追加ダイアログ

ホワイトリストに許可する USB ストレージの情報を入力し、[OK]を押すことでホワイトリストに追加されます。

＜設定可能な情報＞

ベンダーID、プロダクト ID、シリアル番号

製造者、プロダクト、初期化ツール ID

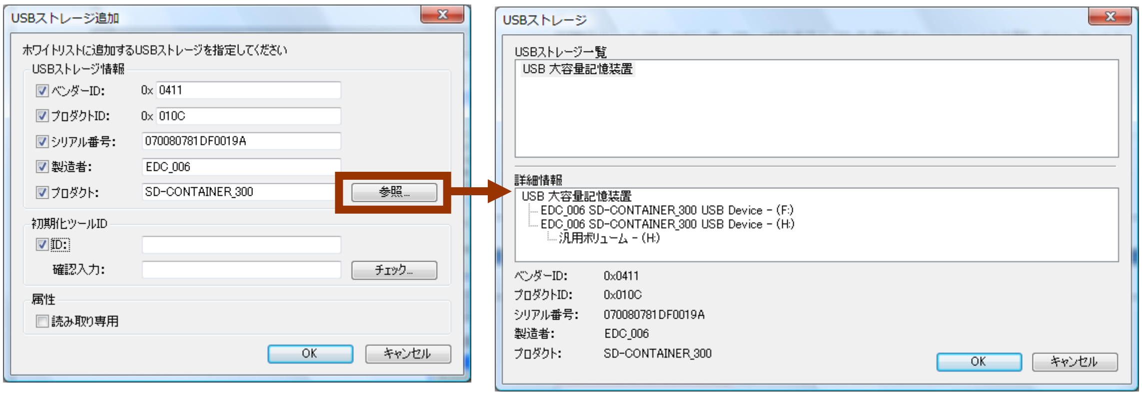


初期化ツール ID はベンダーID、プロダクト ID の値が TRAVENTY™ CG シリーズ、TRAVENTY™ シリーズ（Light 版を除く）、Sdshelter シリーズ、Sdcontainer 4.0 以降（Light 版を除く）、である場合のみ利用できます。

DeviceControl 管理者ツールの操作

USB ストレージの参照

[参照]を押すことにより現在、挿入されている USB ストレージの情報を読み取り、設定することができます。



初期化ツール ID の確認

USB ストレージを接続して初期化ツール ID を入力したあと[チェック]ボタンを押すと、入力した初期化ツール ID が正しいか確認できます。

※初期化ツール ID を利用できる USB メモリ

・TRAVENTY™ CG シリーズ

・TRAVENTY™ シリーズ（Light 版を除く）

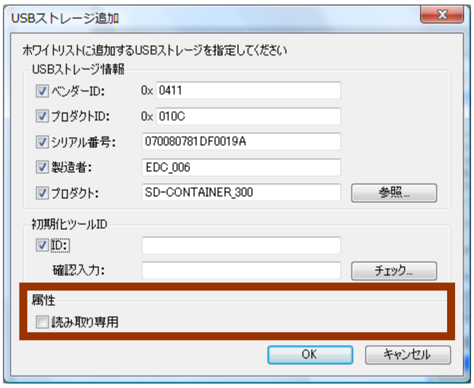
・Sdshelter シリーズ

・Sdcontainer 4.0 以降（Light 版を除く）

上記の USB メモリでベンダーID、プロダクト ID の値が入力されている場合のみ利用できます。

読み取り専用設定

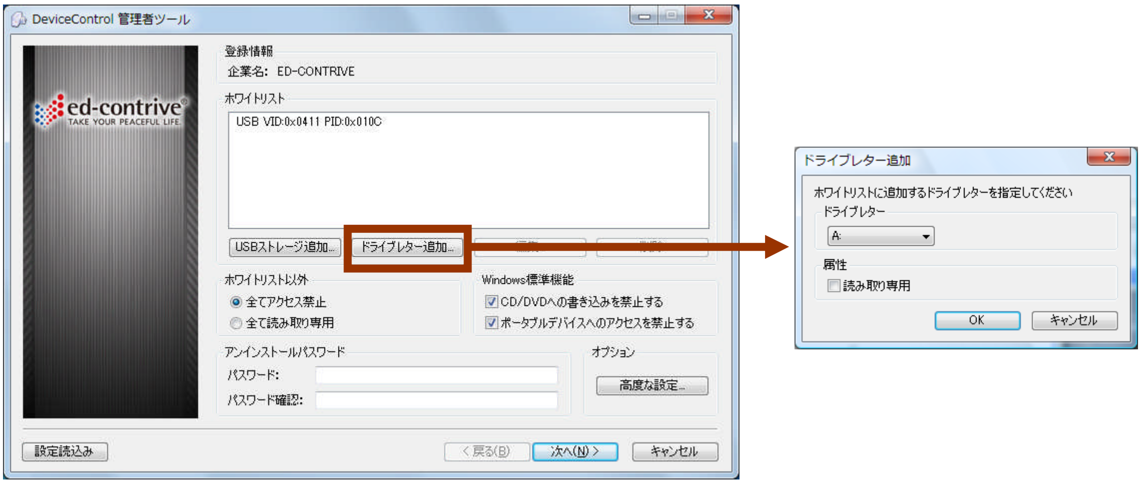
属性の[読み取り専用]をチェックすることで、指定した USB ストレージを読み取り専用に設定することができます。



DeviceControl 管理者ツールの操作

ドライブレター追加

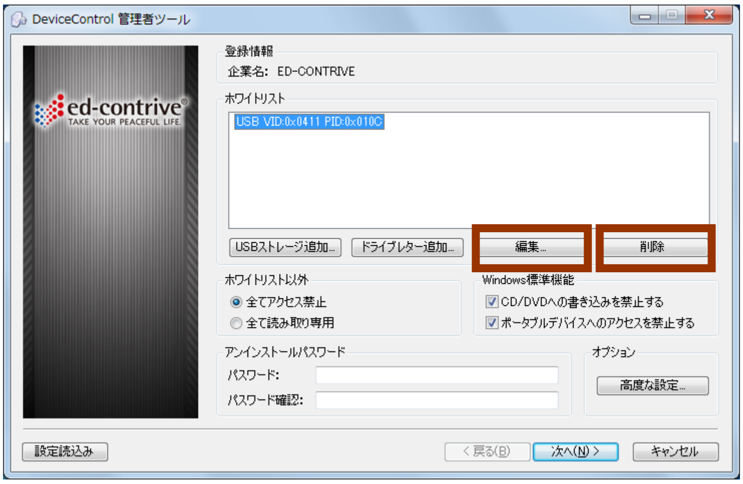
ホワイトリストに許可するドライブレター追加ダイアログを表示します。



ドライブレターを選択し、[OK]を押すことでホワイトリストに追加されます。
※属性の[読み取り専用]をチェックすることにより、読み取り専用のストレージとして開くことができるようになります。

ホワイトリストの編集と削除

ホワイトリストの USB ストレージ、ドライブレターを選択中のみ[編集][削除]ボタンが有効になります。



[編集]をクリックすると USB ストレージまたはドライブレターのダイアログが開き変更することができます。
[削除]をクリックすると選択された USB ストレージ、ドライブレターが削除できます。

DeviceControl 管理者ツールの操作

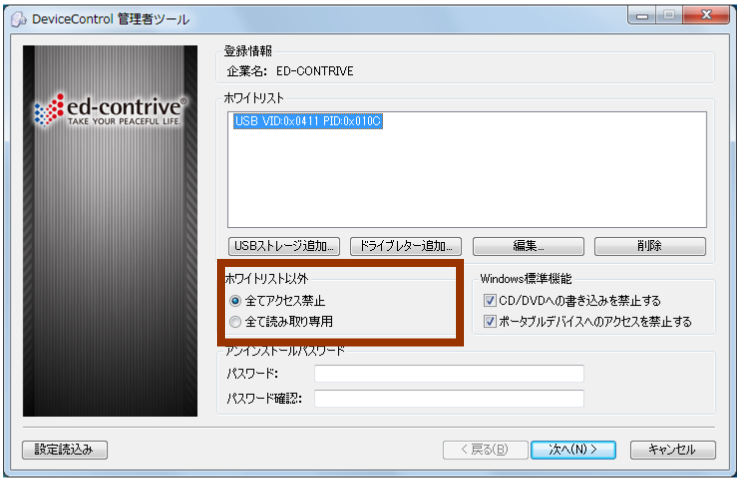
ホワイトリスト以外

ホワイトリストに登録されていない USB ストレージの動作について設定します。

＜選択できる動作＞

・全てアクセス禁止

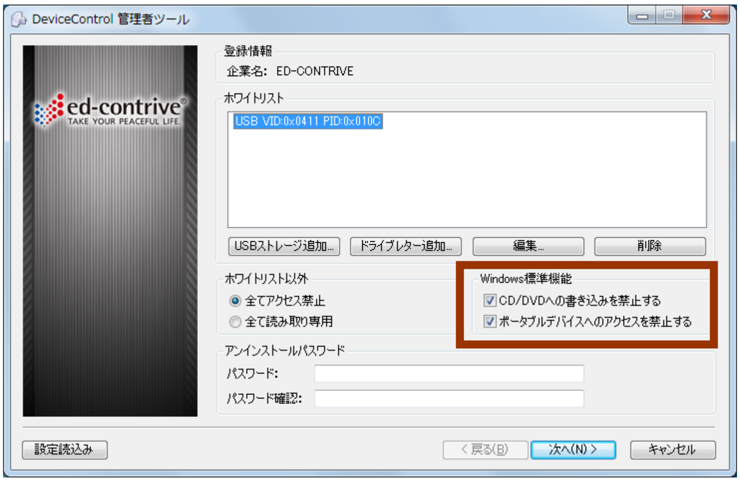
・全て読み取り専用



Windows 標準機能

WindowsXP 以降に標準搭載されている「CD・DVD への書き込み機能、およびポータブルデバイスへのアクセス機能」について制限を行います。

※標準搭載機能の制限であり、すべて制限できるわけではありません。



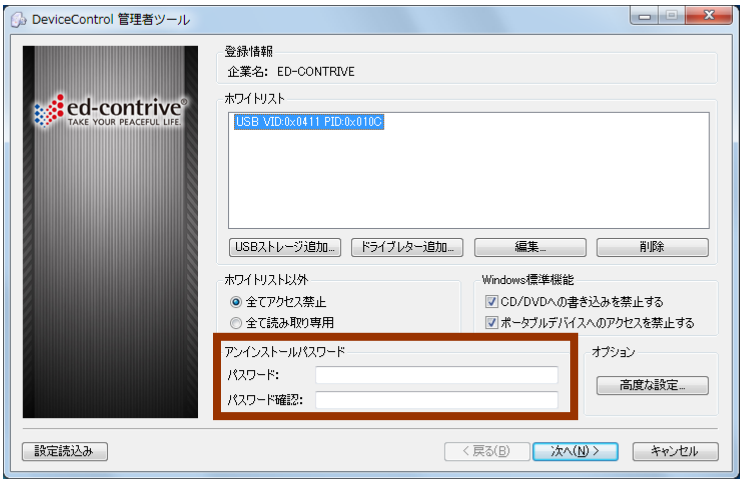
DeviceControl 管理者ツールの操作

アンインストールパスワード

DeviceControl をアンインストールする際のパスワードを設定します。

<使用可能文字＞

※　半角英数字記号



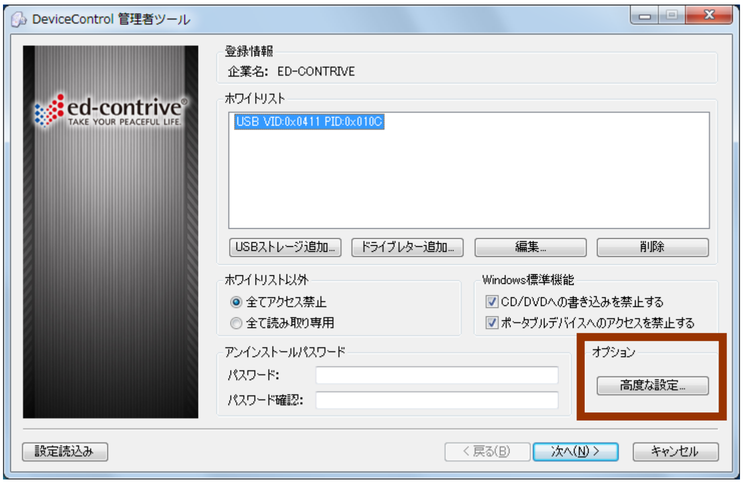
※アンインストールパスワードは利用者がアンインストールできないようにするために設定いたします。パスワードの取り扱いには十分注意をしてください。

高度な設定

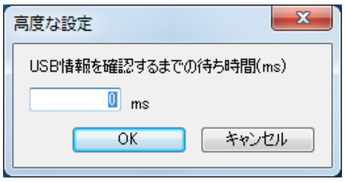
DeviceControl が USB 情報を確認するまでの待ち時間を設定します。

1000ms＝1 秒となります。

0ms＝通常



※一部の USB メモリで USB メモリ情報にアクセスした後、Explorer.exe が不安定になることから、DeviceControl の動作開始タイミングを遅らせることで不安定な状態を回避できます。なお、設定することで USB の認識に時間がかかるようになります。通常は設定する必要はありません。

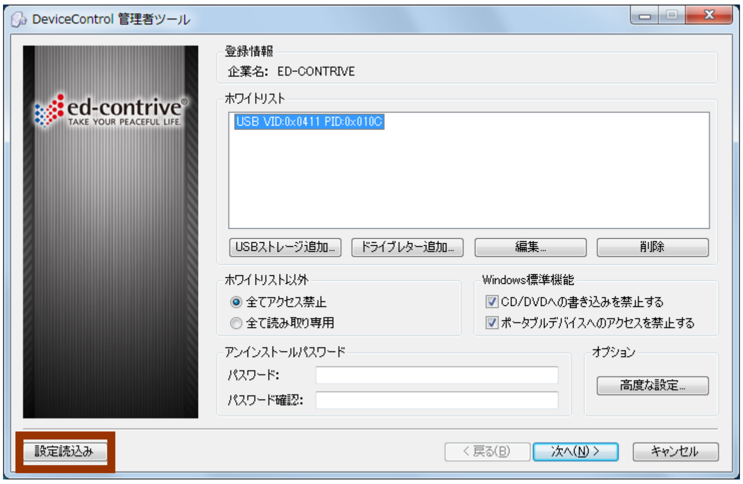


DeviceControl 管理者ツールの操作

設定読込み

[設定読込み]をクリックすることにより保存した設定を適用することができます。

※　設定の保存方法は次項をご参照ください。

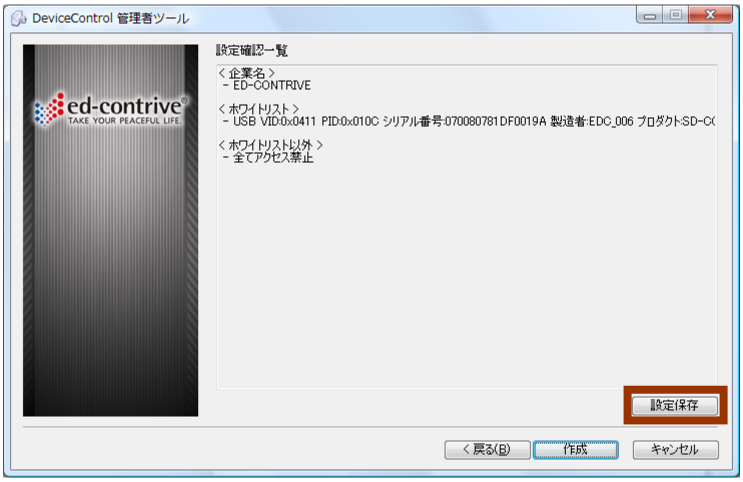


設定保存

設定画面にて[次へ]をクリックすることにより設定確認一覧が表示されます。

[設定保存]を押すことにより、
設定を保存できます。

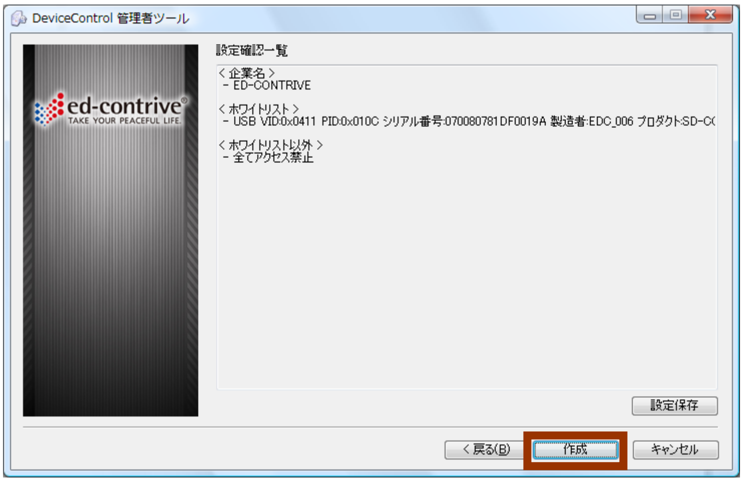
保存した設定は設定画面の
[設定読込み]で読み込むことで
再度利用することができます。



DeviceControl 管理者ツールの操作

クライアント用インストーラーの作成

[作成]を押すことにより、DeviceControl のクライアント用インストーラーを作成することができます。

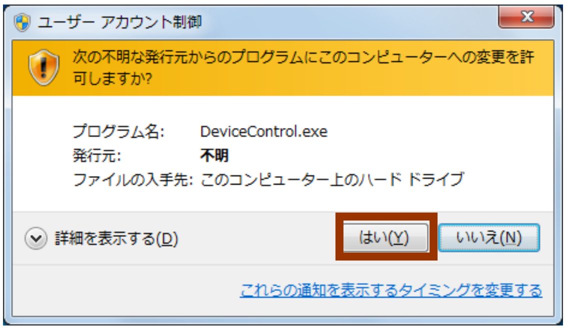


作成したクライアント用インストーラーは各 PC に DeviceControl ソフト及びポリシーをインストールするツールです。
各 PC にインストールすることで設定したポリシーを適用することができます。

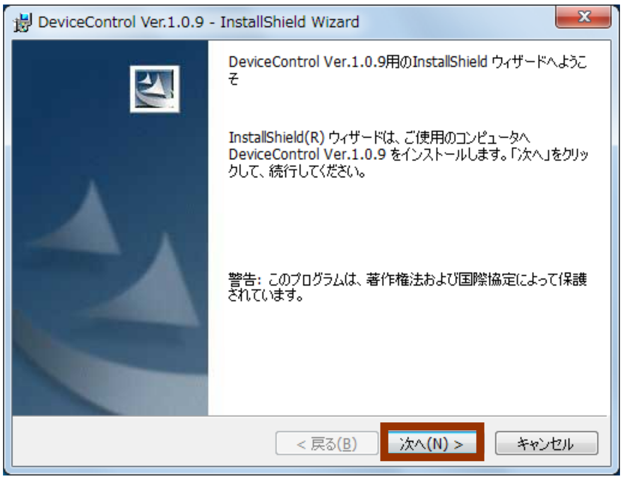
クライアント用インストーラーの操作

１）作成したクライアント用インストーラーをダブルクリックします。
　　※例では DeviceControl.exe というファイル名で作成しています。

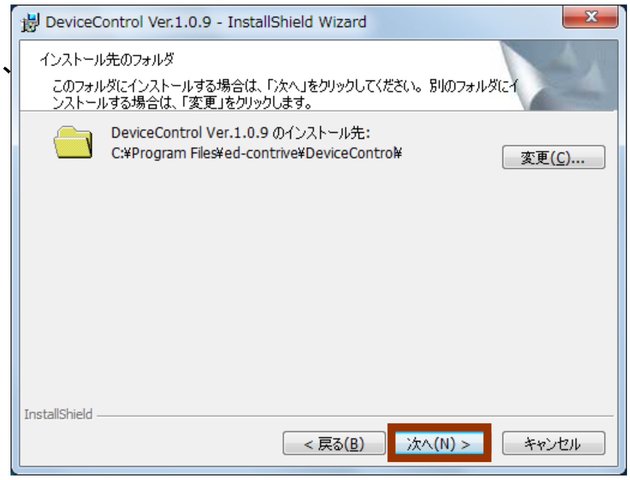
　※Windows 7 等で UAC を有効にしている場合は右図のような警告画面がでます。
　許可を選択してください。



２）[次へ]をクリックします。

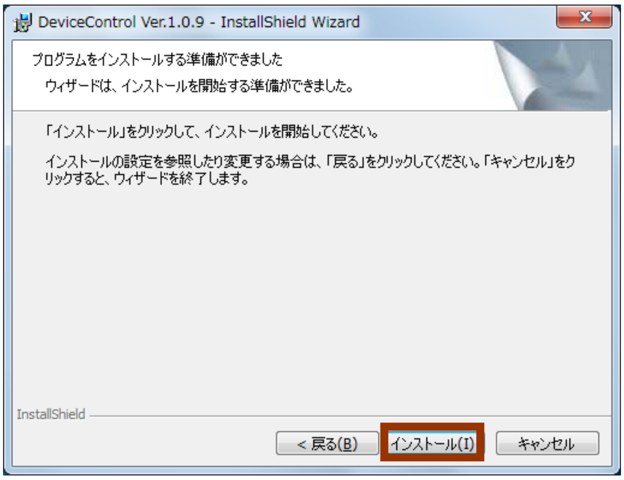


３）インストール先のフォルダを選択し、
　　[次へ]をクリックします。

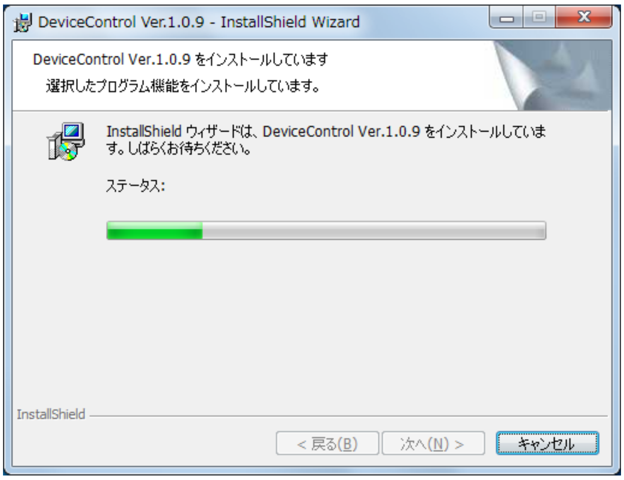


クライアント用インストーラーの操作

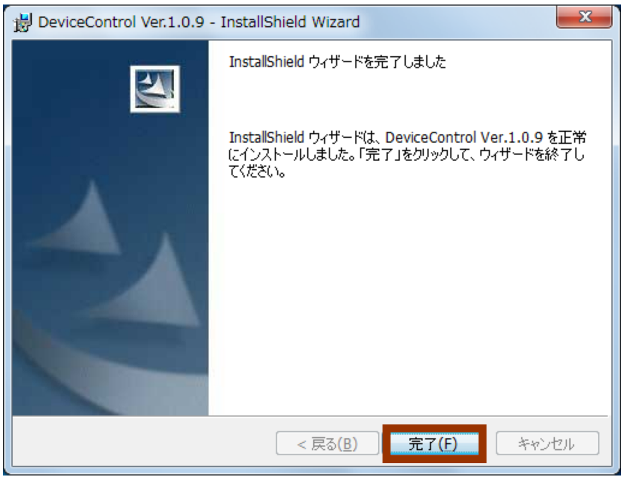
4）プログラムをインストールする準備ができましたので、[インストール]をクリックします。



5）インストールが始まりますので、しばらくお待ちください。



6）「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックしてください。



7）再起動のメッセージがでますので、[はい]を選択します。
以上でインストール完了です。
再起動後に設定が有効になります。

その他

ホワイトリストの適用について

PCに装着したストレージを､ホワイトリストのUSBストレージ情報で上から評価していき、一致した場合その設定が有効になります。
全ての USB ストレージ情報と一致しなかった場合、次にドライブレターを評価し、一致した場合その設定が有効になります。
全てのドライブレターと一致しなかった場合、「ホワイトリスト以外」の設定になります。

※USBストレージ情報＝ベンダーID/プロダクト ID/シリアル番号/製造者/プロダクト/初期化ツール ID

《ホワイトリスト適用例》

＜設定条件例＞
①ベンダーID/プロダクト ID ＝ Sdcの情報
②Sdc内の初期化ツール ID ＝ ″test1″
③ホワイトリスト以外 ＝ アクセス禁止
※Sdc＝Sdcontainer 4.0以降

（上記条件での動作例）

①	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、読み取り専用 →Sdcなら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
②	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →Sdcなら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
③	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test2） ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →Sdcなら、２行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
④	１行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1）読み取り専用 ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID →Sdcなら、１行目の設定を適用 →以外のストレージは、アクセス禁止
⑤	１行目：　F ドライブ 読み取り専用 ２行目：　ベンダーID、プロダクト ID、初期化ツール ID（test1） →Sdcなら、２行目の設定を適用 →以外のストレージは、F ドライブと認識されれば１行目の設定を適用 認識されない場合は、アクセス禁止
⑥	１行目：　F ドライブ →ホワイトリストに指定していないUSBメモリが、F ドライブと認識されれば 書き込みが可能になってしまいます。認識されない場合は、アクセス禁止

ソフトウェア使用許諾書

1　本ソフトウェア（以下、本ソフトウェアから生成されるクライアント用インストーラー含む）は、イーディーコントライブ株式会社の著作物です。したがって、本ソフトウェア及び本書の全部または一部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2　本ソフトウェア及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

3　弊社（その許諾者含む）は、お客様、あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。また、本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。本ソフトウェアの使用または使用できないことにより生じる損害、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、または利益の損失につき、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

4　本ソフトウェアの著作権等の知的財産は、いかなる場合においてもお客様に移転されません。

5　本ソフトウェアのソースコードについては、いかなる場合においてもお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解析するため本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングをすることを禁止します。

6　書面による事前の承諾を得ずに本ソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

7　本製品に関し、日本国内でのみテクニカルサポート及びアフターサービス等を行っております。

8　本ソフトウェアは、「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸送既製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

9　本ソフトウェアは医療機器や人命に直接間接的に関わるシステム、高い安全性が要求される設備や機器に組み込んでの使用は意図されておりません。これらのシステムや設備等に本ソフトウェアを使用され、本ソフトウェアの動作により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

10 本ソフトウェアは、一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。また、本ソフトウェアで生成されるクライアント用インストーラーは、ライセンス証書により使用許諾されたライセンス数と同数のコンピュータに導入し利用することができます。

11 本ソフトウェアまたはその使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転等の処分を行うことを禁止します。

12 本ソフトウェアに起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償は、本ソフトウェアの購入代金と同額を上限と致します。

13 当社は、お客様が上記のいずれかに違反された場合は、いつでも本ソフトウェアの使用を終了させることができるものとします。